



教育委員会だより さいたま

第38号

～ Well-being 実現のために ～

発行日: 令和6年6月25日(火曜日)
発行: さいたま市教育委員会



教育長メッセージ

さいたま市教育委員会 教育長 竹居秀子

現在、我が国では、グローバル化の進展や国際的な地位の低下、少子高齢化や人口減少、子どもの貧困や格差問題など、様々な社会課題が顕在化し、その対応力が問われております。予測できない未来に向けて、様々な危機に対応する強靱さを備えた社会を構築していくためには、「人」の力が不可欠であり、「持続可能な社会の創り手」となる人材の育成という「教育」の果たすべき役割がますます重要となっております。

昨年、第4期教育振興基本計画が閣議決定され、国ではすでに、これからの教育の在り方について様々な議論が進められております。次期学習指導要領の改訂に向けては、「個に応じた指導の充実」、「デジタル学習基盤を前提とした学びの在り方」、「学校現場の創意工夫を生み出す裁量の確保」などが論点として掲げられ、2040年を見据えた教育の姿が少しずつ形になってきたところです。

さいたま市教育委員会では、「日本一の教育都市」で「日本一幸せな子ども」をはぐくむ教育を使命に、コロナ禍において一定の浸透が見られたデジタル化の利点と、重要性が再認識された「人のつながり」や「協働」というリアルの教育的効果を組み合わせ、子どものWell-being(ウェルビーイング)を保障する教育を力強く推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

教育委員会ニュース

さいたま市大学等進学「夢」支援を実施します

学事課 ☎:048-829-1647

自身の持つ夢や志を叶えるために進学を希望している熱意のある高校生に対する新たな経済的支援事業を実施します。

対象者	①日本学生支援機構の給付型奨学金の対象となる世帯
	②学力評定3.0以上
申請	申請書に本人及び生計維持者の所得証明書、調査票、及び作文を添付し提出
申請期間	令和6年10月1日(火曜日)から10月31日(木曜日)までを予定
支給対象者	収入、学力、作文を総合的に審査の上、30人に支給
支給額	受験料(1人当たり):5万3千円(上限)
入学一時金	25万円

事業費の2分の1を、クラウドファンディング型でふるさと納税を募る仕組み「ガバメントクラウドファンディング®」を活用し、寄附を募っています。受付期間は90日間で令和6年6月3日(月曜日)から8月31日(土曜日)までです。

制度やクラウドファンディングの詳細については、[こちら](#)をご確認いただくか、右の二次元コードをスマートフォンなどで読み込んでいただき、さいたま市のホームページをご覧ください。



令和7年度採用(令和6年度実施)

さいたま市立学校教員採用選考試験 志願状況

教職員人事課 ☎:048-829-1653

大学3年生Step Up選考			
志 願 区 分	志願者数	採用見込数	倍 率
小学校教員	384 (458)	100 (200)	3.8 (2.3)
中学校・高等学校・ 中等教育学校教員	463 (565)	60 (100)	7.7 (5.7)
特別支援教育担当教員 (小学校)	40	40	1.0
特別支援教育担当教員 (中学校)	29	5	5.8
養護教員	58 (74)	5 (15)	11.6 (4.9)
栄養教員	99 (72)	10 (15)	9.9 (4.8)
合 計	1,073 (1,308)	220 (400)	4.9 (3.3)

志 願 区 分	志願者数
小学校教員	100
中学校・高等学校・ 中等教育学校教員	96
特別支援教育担当教員 (小学校)	5
特別支援教育担当教員 (中学校)	1
養護教員	14
栄養教員	15
合 計	231

○第1次試験:7月7日(日曜日)に実施

○第2次試験:7月後半から8月後半にかけて実施

さいたま市の未来の教育を担う教員をしっかりと審査し、採用後も研修を通して大切に育てていきます。

※ 数の単位は人

※ () 内は昨年度の結果

真福寺貝塚の出土遺物「発掘された日本列島 2024」へ出品します

文化財保護課 ☎:048-829-1723

現在発掘調査を行っている国指定史跡「真福寺貝塚」(岩槻区)で出土した貴重な出土品を、文化庁主催の「発掘された日本列島 2024」へ出品します。令和2年度に出土した「ミズク土偶」や土製の耳飾りなど、合計70点が全国を巡回して展示されます。

1 千葉県立中央博物館(千葉県)

令和6年6月8日(土曜日)から7月15日(月曜日・祝日)まで

2 弘前市立博物館(青森県)

令和6年7月27日(土曜日)から9月16日(月曜日・祝日)まで

3 大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館(大阪府)

令和6年10月5日(土曜日)から12月8日(日曜日)まで

4 大野城心のふるさと館(福岡県)

令和7年1月5日(日曜日)から2月16日(日曜日)まで

発掘された日本列島 2024

EXHIBITION
EXCAVATIONS
IN THE
JAPANESE
ARCHIPELAGO
2024

開催30年記念

我がまちが誇る遺跡 歴史を語る 特色 遺跡から読み解く多様な歴史文化 文化財保護課30年

- 千葉県立中央博物館(千葉県)
令和6年6月8日(土)～7月15日(月・祝日)
〒260-8601 千葉県千葉市中央区中央1-1-1 中央博物館3階展示室
- 弘前市立博物館(青森県)
令和6年7月27日(土)～9月16日(月・祝日)
〒030-0821 青森県弘前市本町1-1-1 弘前市立博物館3階展示室
- 大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館(大阪府)
令和6年10月5日(土)～12月8日(日・祝日)
〒565-0872 大阪府大阪市東淀川区西淀川1-1-1 大阪府立近つ飛鳥博物館3階展示室
- 大野城心のふるさと館(福岡県)
令和7年1月5日(日)～2月16日(日・祝日)
〒811-0101 福岡県大野城町大野城1-1-1 大野城心のふるさと館3階展示室

協力: 文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)
後援: 文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)
協賛: 文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)、文化庁(文化庁長官賞)

さいたま市から「体験の風をおこそう」運動を推進します

館岩少年自然の家 ☎:0241-78-2311

「体験の風をおこそう」運動推進事業とは

事業概要

- 「独立行政法人国立青少年教育振興機構が、各地域の青少年教育施設や地方公共団体等が一体となって自然体験や生活体験などを推進する機運を高める取組に対し、事業費の一部を支援する委託事業
- 令和5年度より「政令指定都市」単独での応募が可能となり、さいたま市の事業が採択され、2年目となる



さいたま市から「体験の風をおこそう」運動を推進し、子どもたちへより豊かでリアルな体験活動を提供してまいります。

さいたま市から
『体験の風をおこそう』
運動推進事業

詳しくは、こちらをクリック



令和6年度の実行委員会委員には、昨年度までの関係団体に加え、新たに民間企業やさいたま市に本拠地を置くJリーグクラブ、マスコミ関係者、市立小学校の代表校に委員として参加していただくことになりました。
今年度の事業として4事業を計画しております。

- 1 夏休み親子の集い
～未来へのチャレンジ 挑戦の扉～
令和6年8月16日(金)～18日(日)【2泊3日】
宿泊場所: 館岩少年自然の家
- 2 防災キャラバン2024
令和6年9月8日(日曜日)
実施場所: イオンモール与野
- 3 わんぱくフェス2024
令和6年9月29日(日曜日)
JR浦和駅東口 パルコ前市民広場
- 4 白銀の会津高原・家族の集い
令和6年12月25日(水)～27日(金)【2泊3日】
宿泊場所: 館岩少年自然の家

さいたま市中学生英語力 5回連続 全国1位になりました

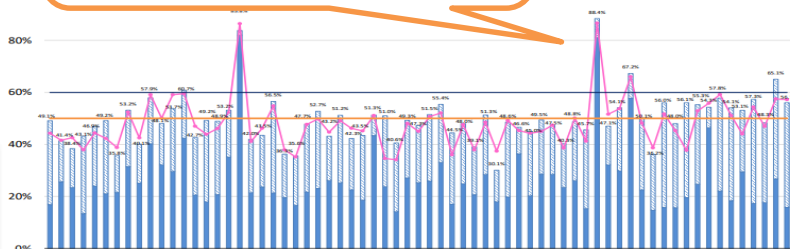
教育課程指導課 ☎:048-829-1662

英語教育実施状況調査は、文部科学省が英語教育改善のための具体的な施策の状況について調査し、今後の国の施策の検討に資するとともに、各教育委員における英語教育の充実や改善に役立てるために毎年実施しています。

さいたま市の推移

平成30年度	75.5%
令和 元年度	77.0%
令和 2年度	※未実施
令和 3年度	86.3%
令和 4年度	86.6%
令和 5年度	88.4%

令和5年度英語教育実施状況調査において、CEFR A1(英語検定3級相当)レベルに到達した中学3年生の生徒の割合が、さいたま市は88.4%



※「第4期教育振興基本計画」(R5～R9)では、すべての都道府県・政令指定都市において、CEFR A1レベル相当以上を達成した中学生の割合5割以上を目標としている。

要因6 カリキュラムの定期的な改定

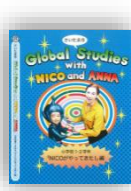
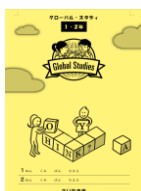
要因1 さいたま市独自の英語教育の推進

要因2 英語教育の「質」と「量」の充実

要因3 指導・支援体制の充実

要因4 豊富な研修で教員をサポート

要因5 実際に英語を活用する機会の創出



オリジナル
DVDは販売も
しています。

投資先はミライ～さいたま MY SCHOOL ファンド～

教育財務課 ☎:048-829-1635 教育政策室 ☎:048-829-1626

○さいたま市の教育を応援したい方とさいたま市立学校・さいたま市の教育施策をつなぐ、さいたま市『ふるさと応援』寄附を活用した仕組みです。

○さいたま市『ふるさと応援』寄附の使いみちの一つとして設定し、寄附者が応援したい学校や教育施策を指定して寄附を行うことができます。

○個人の方(ふるさと納税)や、法人・団体から寄附をお受けできます。なお、市外在住の個人の方の場合、本市の返礼品を受け取ることができます。

※詳細は、[こちら](#)をご確認ください。



「赤ちゃん・幼児触れ合い体験」のボランティア親子を募集します(無償)

教育課程指導課 ☎:048-829-1659

○さいたま市教育委員会では、全ての市立中学校の技術・家庭科の授業において、「赤ちゃん・幼児触れ合い体験」を実施しています。

赤ちゃんや幼児とのかかわりの少ない中学生にとって、親子の触れ合いを身近に観察したり、インタビューをしたりする体験は、小さい子どもを慈しむ優しい気持ちを醸成したり、自分たちが大切に育てられてきたことや生命の大切さに気付いたりすることが期待できる大変貴重な機会となっています。

○本市の中学生が赤ちゃんや幼児への理解を深め、家族と家庭の役割について学ぶことができるよう、ボランティア親子として本事業に御協力いただける方を募集いたします。

※応募方法(1または2の方法があります)

- 1.「ボランティア親子登録フォーム」へアクセスし、登録してください。
- 2.「ボランティア親子登録書」を教育課程指導課へ持参するか、ファックス・郵送で申込をしてください。

※詳細は、[こちら](#)をご確認ください。

お知らせ

教育長フォトレポート

教育長が参加した行事の様や
活動の様子などをお伝えします

※教育長フォトレポートは[こちら](#)から



リニューアルした館岩少年自然の家を紹介します

館岩少年自然の家が、中規模修繕工事を終えて、令和6年4月にリニューアルオープンしました。新しくなった館岩少年自然の家は、照明のLED化やパネルヒーターの更新により、環境に配慮した施設に生まれ変わりました。



※紹介動画は[こちら](#)から